



CALL TO ORDER

At 09h10 Saturday January 28 2017, President Sandi Wiemers called the meeting to order.

Roll Call

		SATURDAY	SUNDAY
President	Sandi Wiemers	X	X
Vice President	Jean Patrick Rousset	X	X
Secretary	Jeff Johnson	X	X
Treasurer	Paul Rutten	X	X
Sport Administrator	Moto Tsuchiya	X	X
Country Representatives in Attendance:			
Australia	Ainslie Hunt	X (online)	X (online)
Belgium	Lilianne Comans	Absent	Absent
Canada	Joanne Moser	X	X
Croatia	Marina Milhecic	X	X
Czech Republic (CFMT)	Iva Rejlová	X (non-voting)	X (non-voting)
Czech Republic (CMTO)	Miluše Vápeníková	X (non-voting)	X (non-voting)
England	Nicky O'Neill	X	X
France	Jean Patrick Rousset /	X	X
Germany		Absent	Absent
Hungary	Laszlo Vadoc	Absent	Absent
India	Santosh Deshmukh	Absent	Absent
Ireland	Bernadette Doyne	X (online)	Absent
Italy	Stefania Lenzini	X	X
Japan	Noriko Sugiura	X	X
Kazakhstan	Alfiya Kalmaganbetova	Absent	Absent
Kyrgyzstan	Sachko Tatyana	Absent	Absent
Netherlands	Martin Stevens	X	X
Norway	Mona Kristiansen	Absent	Absent
Philippines	Lily Brackenbury	Absent	Absent
Puerto Rico	Sammy Torres	Absent	Absent
Russia	Andrey Kokoulin	X	X
Scotland	Fiona Howat	X	X
Slovenia	Nada Skuk	X	X
Spain	Sara Abad	X	X
Sweden	Thomas Edmyr for	X	X
Switzerland	Alessia Dolci	X	X
USA	Karen Cammer	X	X

会長挨拶

ウィマー会長より 2016 年ウィンター会議開始にあたり挨拶があった。

クロアチア・オパティア観光局から挨拶があった。

ボード動議 #1 – 議題承認

可決

提出された議事録の承認。

発議： Canada

セカンド： Switzerland

賛成： 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対： 0

棄権： 0

欠席： 1 (Ireland)

議事録

セクレタリーのジェフ・ジョンソンより 2016 年ウィンター及びサマー会議の議事録が提出された。

サマー会議の議事録に一か所、修正があった。

- アメリカの出席者はマーク・ナッシュではなく、ジョン・チェンバレン。

議事録は修正し、ウェブサイトに掲載する。

資料参照： [\[01 2016 WBTF Summer Board meeting Minutes \(FINAL amended\).pdf\]](#)

ボード動議 #2 – 2016 サマー会議議事録修正

可決

上記の通り 2016 サマー会議議事録を修正する。

発議： USA

セカンド： Scotland

賛成： 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対： 0

棄権： 0

欠席： 1 (Ireland)

ボード動議 #3 – 2016 ウィンター会議議事録

可決

2016 ウィンター会議議事録朗読を省く。

発議： Canada

セカンド： USA

賛成： 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対： 0

棄権： 0

欠席： 1 (Ireland)

報告

会計報告

会計担当ポール・ルッテンより 2016 年度の決算報告があった。加盟国全てが期日前に加盟費を納入した。

資料参照： [02 Financial Year 2016.pdf]

監査委員会報告

WBTF 監査委員会 (Fiona Howat/SCO, Martin Stevens/NET, Joanne Moser/CAN)は、ボード会議前に委員会を開催し会計監査を行った。

決算報告に関する全ての書類を監査した所、全て適正に処理されており、問題点は何ら見いだせなかった、との報告があった。

資料参照： [03a Profit and Loss 2016.pdf]

資料参照： [03b Balance Sheet 2016.pdf]

ボード動議 #4 – 監査委員会報告

可決

監査委員会の報告を承認する。

発議： Netherlands

セカンド： Croatia

賛成： 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対： 0

棄権： 0

欠席： 1 (Ireland)

WBTF / WFNBT A 会議報告 (2017 年 10 月)

ウィマー会長より 2016 年 10 月にイギリスで開催された IBTF 会議の報告があった。

大変建設的な会議だった – 議事録は会議資料として配布済み。今後の大会開催計画で双方が合意した。現在のグランプリ大会は IBTF 世界選手権大会 を各種バトン種目の大会 (ソロ、2 バトン、3 バトン、AT、AP、デュエット、ダンストワールチーム、A グループ) とし、各年開催としてフリースタイル大会 (個人、ペア、チーム種目) を 2021 年より開催する。

次回は 2017 年 8 月にポレッチで短い会議を、また 11 月には数日間の会議開催を予定している。

2017 インターナショナルカップ情報

クロアチア会長マリナ・ミヘリックより、大会の説明があった。

2 種類のウェブサイト：

- On WBTF.ORG: <http://www.wbtf.org/Event/ic2017>
- The event site: <http://twirl-internationalcup2017.com>

この度はスティ・トゥ・プレイ規定を適用する。

大会会場は GPX と IC の間の期間で使用可能。練習会場は 3 か所（2 か所は空調付き）。大会会場の利用時間割り当てはテクニカル委員会において抽選にて既に決定済み。

大会中の食事は事前予約にて販売する。大会実行委員会よりメニューは近日中に発表する。食物や飲料の会場への持ち込みは禁止とする。

観戦チケット情報は後日ウェブで公開する。

日焼けや熱中症が懸念される。特に午前 11 時から午後 2 時ごろまでの屋外での活動時は十分注意するよう参加者に伝えてほしい。

開会式時の特別演技に各国から 4 名の選手に参加してもらいたい。選出した選手名をマリナに事前に報告する事。

日本：IC 大会中も練習会場は予約できるのか？

マリナ：可能。大会終了時のフロア解放も実施予定。

スペイン：ホテル予約の締め切りは 2 月 15 日か、3 月 1 日か？

ウィマー会長：3 月 1 日が締め切り。以降は確約できない。選考会終了まで待つ必要はなく、おおよその部屋数をまず 3 月 1 日までに確保する事。その後キャンセルも可能。多少多めに部屋を予約すべき。

2017 ヨーロッパ選手権大会情報 (以下、翻訳省略)

The Italian Federation reported on the plans and preparations for the 2017 European Championship.

Two websites are now available:

- On WBTF.ORG: <http://www.wbtf.org/Event/ec2017>
- The event site: <http://www.eurotwirl2017.com>

The competition will be held in Busto Arsizio – which is very close to Milano.

The WBTF Stay to Play policy is in effect. A number of hotels have been selected for delegations and supporters. The Le Robine has been designated the Headquarters Hotel.

The European Championship will take place at the PalaYamamay – Maria Piantanida Venue. The competition area has a height of 18m and the warm-up hall is 20mx40mx12m and is air conditioning equipped.

Schedule:

- Monday July 3
 - o Registration
- Tuesday July 4
 - o Registration
 - o Costume Check & Music Test
 - o Athlete & VIP Party
- Wednesday July 5
 - o Registration
 - o Costume Check & Music Test
 - o Opening Ceremony
- Thursday July 6
 - o Compulsory & Short Program
 - o Junior & Senior Pair Prelim
- Friday July 7
 - o Junior & Senior Freestyle Prelim for Men & Women
- Saturday July 8
 - o Team & Group Prelim
 - o Junior & Senior Freestyle Semi-Final for Women
- Sunday July 9
 - o Final Rounds
 - o Closing Ceremony

資料参照 : [05 2017 European Championship.pdf]

2017 IBTF グランプリ 報告

ウィマー会長より WFNBT A との共催大会、IBTF グランプリ大会の報告があった。

2015 年大会は WBTF によって運営されたので、2017 年大会は WFNBT A が運営を担当する。

2 種類のウェブサイト :

- On WBTF.ORG: <http://www.wbtf.org/Event/gp2017>
- The event site: <http://www.ibtf-batontwirling.org/grand-prix.html>

前回配布したスケジュールに修正が入った :

- 8 月 3 日 (木) は練習に充てる
- 8 月 4 日 (金)
 - o 開会式 (夕方)
 - o チームエントリー数に応じて予選を実施
- 土・日 : 競技及び表彰

WBTF 加盟国は GPX 及び IC への出場者概数を報告する事。

2018 世界選手権大会報告

ウィマー会長より、アメリカ・フロリダ州キシミーで開催される 2018 年世界選手権大会に関する報告があった。

大会はフロリダ州キシミーの Osceola Heritage Park (Silver Spurs Arena) で開催される。天井までの高さは 13.18m。付属施設である展示会場に各国更衣室とケータリングを設ける。

WBTF スティ・トゥ・プレイ規定が適用される。複数のホテルを各国代表団と観戦者の為に確保済み。The Lake Buena Vista Embassy Suites を大会ヘッドクォーターホテルとして指定した。

2017 サマー会議で再度現状報告を行う予定。

2018 年のウィンター会議は 1 月 26 日～28 日まで、Lake Buena Vista Embassy Suites で開催する。

資料参照： **[06 2018 World Championship.pdf]**

ウェブサイト/テクノロジー報告

セクレタリーのジェフ・ジョンソンと会計のポール・ルッテンより、WBTF オンラインサイトの報告があった。

ウェブサイト

- 公式サイト： www.wbtf.org
- 写真サイト： <http://photo-wbtf.org/>

ワールドレコードブックが写真サイトに掲載された。

Report: **[07a Main Site Visitor Statistics.pdf]**

Report: **[07b Photo Site Visitor Statistics.pdf]**

継続審議

2020 ビジョン

ウィマー会長より現状報告。

グランプリ開催及び WFNBT A との合併はスポーツの長期ビジョンとしては重要なステップ。しかし同時にメジャレッツからの危機にも直面している。

ウィマー会長よりメジャレッツ部門新設の提案があった。まずはタスクフォースを立ち上げ、検討した上でボード会議に提案する必要がある。

フランス (FFSTB) がまず、フェスティバル形式の大会を開催する事なった。

イングランド：どの様な種目を実施するのか？

ウィマー会長：検討の上確定するが、メジャレッツが現在実施している種目。

イングランド：イングランドは近日中、ブリティッシュメジャレッツ協会と同盟を組む。

ウィマー会長は継続して International Cheer Union (ICU) とコンタクトをとっている。情報によると巨大メジャレッツ協会が ICU 加盟を希望している、との事。これは WBTF のスポーツアコード加盟戦略に大きな障害となる。どの様な種目であれバトンと言う手具を用いた種目がスポーツアコードに加盟した時点で、他のバトン種目は独自で加盟できなくなる。未加盟団体はスポーツアコードに加盟したバトン種目団体に統合される事となる。

WBTF 加盟国で既に自国のオリンピック協会に加盟している協会は、ロビー活動を強め我々のスポーツバトントワリングを守るように支持してほしい。

イングランド：ICU は加盟申請を受け入れたのか？

ウィマー会長：まだ。ICU のボードメンバーの一人が加盟の意向を示した。決定はまだだが、次の会議で審議が予定されている。

スポーツ普及について

ウィマー会長より報告。

ワールドバトントワリングフェスティバル

パオラ・デ・マルキからの提案であり、直接説明する予定なので、現段階での審議は保留。イタリアの体操競技会で行われているジムナストラダの様なもの。大変成功しているイベント。全レベルの選手が参加できる大会。

エクストリームトワリング

ETC において、「エクストリームトワリング」イベントについて審議している。

土屋素明：フェスティバルタイプの大会とは異なったイベント。大会中に実施する「出し物」や「チャレンジ」的なもの。例えば最多スピン、最多ロール、等のチャレンジ。

日本では以前ギネス世界記録に挑戦した—マスメディアへのアピールも多大であり、250 件以上のメディア紹介があった。大阪バトン協会が行ったギネス世界記録挑戦は次のリンクを参照。 (<https://www.youtube.com/watch?v=l6DqlvYpDh8>).

この様なチャレンジを WBTF として実施するのは困難であり、主催国主導で実施する事により、国内でのスポーツ普及にもつながるだろう。

イングランド：様々な方法を用いてもっと我々のスポーツを宣伝する必要がある。

ワールドバトントワリングディ (2017年4月10日)

土屋素明：簡単な振り付けを作り、YouTubeに掲載した振りを皆が覚えて演技する。その後演技を撮影し、ネット上に掲載する。現段階ではまだ計画がさほど進んでいないので、延期の可能性もある。

イングランド：トワールマニアが実施するカリッサ・ウェンブリー振り付けの演技を使用できないか。

ウィマー会長：各国、ワールドバトントワリングディを宣伝してほしい。

クロアチア：クロアチア国内では4月10日は1941年ファシズム解放を記念し、喪に服す日である。日程を変更できないか？

オランダ：ずいぶん前に決定した事を今になって覆すべきではない。

ウィマー会長：2017年は4月10日に実施する。

性識別に関する規程

ウィマー会長より事前にIOCコンセンサス会議が定めた性の識別と高アンドロゲン症(2015年11月)に関する資料が提出された。

資料参照：[08 IOC Transgender.pdf]

ボード動議 #5 – 性識別に関する規程

可決

IOCコンセンサス会議が定めた性の識別と高アンドロゲン症に関する指針を、WBTF規程と定める。

発議：Canada

セカンド：Netherlands

賛成：15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対：0

棄権：0

欠席：1 (Ireland)

大会運営に関するイベント保険加盟条件

ウィマー会長よりWBTF大会を運営する開催国に対し、次の条件に見合った保険に加盟するよう、提案があった。

大会開催を許可された開催国は大会開催から30日前に、AMベストの最低Aレベルランキングの保険に加入し、詳細な条文を英文にて提供しなければならない。保険への加盟は大会設営時から撤収時までを含み、以下の条件を満たす事。

- 事故：医療費は一件につき最低\$25,000とし、控除額は\$500を上回らない。
- 賠償責任：一件につき法関係料を含む最低\$1,000,000とし、競技者を除外してはならない。また賠償責任は契約関連も含まなければならない。
- また条項には世界バトントワリング連合も含まなければならない。

(アメリカ国内では A.M.が一番よく知られ、ヨーロッパや環太平洋地区でも有名である。同社のロンドン支社では AM ベストヨーロッパ保険の格付け及び情報提供を行っている。AM ベストアジア・パシフィックは香港及びシンガポールにある。)

開催国は開催権利を受領する代わりに、大会役員、職員、ボランティア、関連企業関係者の過失による身体傷害、物的損傷、その他の賠償責任、妥当な金額の弁護士料に関し、WBTF 及びその取締役、役員、職員、ボランティア、施設管理者及び施設所有者に対する全ての訴訟から保護する。

開催国の損害賠償保険には契約関連の保護も含まなければならない。

ボード動議#6 – 保険加盟条件

可決

開催国の保険加盟の条件を承認する。

発議： USA

セカンド： Croatia

賛成： 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対： 0

棄権： 0

欠席： 1 (Ireland)

スティ・トゥ・プレイ規程の補足説明

オランダ：WBTF のスティ・トゥ・プレイ規程違反者への罰則についてより明確な規定が必要。この規定の目的は、開催国が提供する宿泊施設を大会参加国に利用させる事。この規定に違反した場合、どうなるかを明確にすべき。

現行規程に対するオランダの修正案：

規程の違反者は ~~ID バッジ所有権をはく奪する~~。大会会場への入場を拒否する。（該当者は大会に出場させない）

WBTF はエントリー拒否件を有する。

但し参加国があらゆる手段を用いて規程順守を試みた上、正当な理由により不可能な場合は、事前に WBTF に理由を説明する事により、罰則の免除を申請する事ができる。

ボード動議 #7 – スティ・トゥ・プレイ規程 改定

可決

スティ・トゥ・プレイ規程の改定を承認する。

「ID バッジ所有権のはく奪」では無く「大会会場への入場を拒否する。（該当者は大会に出場させない）」に変更。

発議：Netherlands

セカンド：England

賛成：15 (Australia, Canada, Croatia, England, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対：1 (France)

棄権：0

欠席：1 (Ireland)

選手権大会のリベート

オランダ：現在選手権大会開催を希望する事が困難になりつつある。カップ大会の場合、リベートは 50/50 の分配となっているが、選手権大会は 60（開催国）/40（WBTF）となっている。

オランダは 80（開催国）/20（WBTF）を提案する。

ウィマー会長：70(開催国)/30(WBTF)を提案する。各種大会支援の為 WBTF 自体も必要経費が発生し（エントリー処理、オンラインサポート、賞など）、これらはエントリー収入で賄われている。20%の分配では全てを賄えない。

ルッテン会計担当から 20%の分配では困難だが、30%なら何とか運営できる、との意見があった。

ボード動議 #8 – 選手権大会の収入分配について

可決

エントリー収入の分配比率を開催国 70%、WBTF30%とする。即時有効

発議：USA

セカンド：Netherlands

賛成：14 (Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対：0

棄権：1 (Australia)

欠席：1 (Ireland)

無料 ID バッジについて

オランダ：2016 年サマー会議にて、エントリー締め切り日など規定変更を行った。その際無料 ID バッジについても規定変更を行うべきとの発言があった。

ウィマー会長より、タスクフォースを結成し(Stevens/NET, O'Neill/ENG, Ediger/SWE, Cammer/USA, Mihelcic/CRO)2017 ウィンターボード会議終了時まで改定内容を審議し、提案するよう指示があった。

このタスクフォースより提案がなされた：

ID バッジ（無料）提供条件は次の通りとする：

- 各国会長（ボード代表）とそのパートナー*
- テクニカルアドバイザー
- ジャッジコミッティ代表
- 大会審査員

これらのバッジは各国割り当て数に含まない。

各国代表団用のバッジ（無料）は団のサイズによって決定する。出場選手 5 名につき 1 名分の無料バッジを提供し、最大数は次の通りとする：

- 選手権大会は 5*個まで、
- カップ大会は 10*個まで

ID バッジ取得は最低 16 歳までとする。

両親や保護者が大会関連の業務を行っている子供達には：

- 6 歳以下：無料パス
- 6-12 歳：入場券の 50%
- 12 以上：入場券と同額

上記以外に追加が必要な場合は、入場券と同額で購入する事ができる。

カナダ：子供 ID を持つ者はどこに座るのか？VIP 席か？

審議後、次のように追加修正があった：

- 「パートナー」を「ゲスト」に変更'
- 選手権大会の無料 ID 最大数を 6 個に変更。
- カップ大会の無料 ID 最大数を 15 個に変更。

ボード動議 #17 – バッジ規定の改定

可決

バッジタスクフォースからの提案に修正を加えたバッジ規定を選手権大会およびカップ大会で適用する。

即時有効

発議：Task Force

セカンド：Scotland

賛成：14 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対：0

棄権：1 (Spain)

欠席：0

ジュニアショートプログラム

2016 サマー会議において、ETC はジュニア部門のショートプログラム導入を検討したが、採用は否決された。

オランダ：この様な決定はどのような手順で行われるのか?2016 ウィンターテクニカル会議においてジュニア部門のコンパルソリーをショートプログラムに変更する事を全員で審議した。しかし 2016 サマー会議においては、既に ETC がテクニカル会議の同意も無く、この提案を棄却した。

加盟国コンタクト先情報

各国は WBTF からの各種情報配信先のコンタクト担当窓口の氏名とメールアドレスを提出しなければならない。

- a) 請求書送付先
- b) エントリー関連資料提出者
- c) WBTF アップデート受信者

必要な情報を会長まで報告する事。

マスタージャッジ メールアドレス

WBTF ウェブサイトにマスタージャッジの個人アカウントを作成する為に、メールアドレスの提供が必要となる。 admin@wbtf.org とジャッキー・スチュアートに提出する事。また各自の資格有効期限も報告する事。

提出先 admin@wbtf.org

国内コーチ メールアドレス

WBTF ウェブサイトに WBTF コーチの個人アカウントを作成と WBTF グループフェイスブックページへのアクセスの為に、メールアドレスの提供が必要となる。 admin@wbtf.org とパオラ・デ・マルキに提出する事。

提出先 admin@wbtf.org、paola_demarchi@alice.it

今後の予定

審議は次回の会議に延期した。

新規審議事項

新規加盟国報告

ウィマー会長より暫定加盟の申請が2カ国からあった事が報告された。

- 1) ウクライナ・チアリーディング連盟
- 2) キルギスタン・チアリーディング・メジャレッツ・トワリング連盟

ボード動議#9 – 暫定加盟：ウクライナ

可決

ウクライナ・チアリーディング連盟の暫定加盟を承認する。

発議：Netherlands
セカンド：Russia

賛成：11 (Canada, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対：0

棄権：0

欠席：5 (Australia, Croatia, Ireland, Slovenia, Spain)

ボード動議#10 – 暫定加盟：キルギスタン

可決

キルギスタン・チアリーディング・メジャレッツ・トワリング連盟の暫定加盟を承認する。

発議：USA
セカンド：Sweden

賛成：11 (Canada, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対：0

棄権：0

欠席：5 (Australia, Croatia, Ireland, Slovenia, Spain)

テクニカル/ジャッジコーチ議長

パオラ・デ・マルキ（テクニカルディレクター）、ジャッキー・スチュアート（ジャッジ議長）、ジャン・ミッシェル・ルレル（コーチ議長）が出席。

パオラ・デ・マルキ：2016 サマー会議から現在まで ETC はオンライン会議を多数開催した。審議の上、今後は特にコーチとジャッジの教育に力を注ぐ事となった。コーチとジャッジには共通の基礎知識を共有してもらいたい。ジャッジの教材は既に多く存在しているが、コーチ向けの教材や資格制度は整っていない。

ジャン・ミッシェル・ルレル：基礎知識と情報は両者とも共通したもの。この共通した基礎を基にコーチは指導法を習得し、ジャッジは演技の分析と評価技術を習得する。

コーチングシステムは5段階：

- 1) 日本のディグリー（級）
- 2) ソロ、2バトン、3バトン種目

- 3) コンパルソリー、ショートプログラム種目
- 4) 個人アーティスティック種目 (フリースタイル、A トワール)
- 5) グループアーティスティック種目 (ペア、チーム、A グループ)

大きな枠組みは出来上がっているが、細かいスキルレベルの指導法などは今後作成する。内容はどの国においても指導可能なもの。各国内のコーチ資格との共有も検討する。目標は**2018**アメリカ世界選手権大会においてクリニックを開催し、マスタークリニシャンを養成する事。

WBTF 公認マスタージャッジはこれら全てのレベルをクリアする必要がある。また WBTF マスターコーチも全てのレベルをクリアする必要があるが、特定の種目のみを指導したい場合は部分的でも良い。

オランダ：既にジャッジの確保に苦慮している。加えてこれらのレベル全てを取得するとなると、問題を大きくするだけ。

ジャン・ミッシェル・ルレル：これは長期計画。具体的な取得期限などはまだ決定していない。

クロアチア：クリニシャンを派遣してくれるのか、それともどこかへ受講しに行くのか？

ジャン・ミッシェル・ルレル：初回のクリニック(WC 2018)においてクリニシャンを養成する。可能な限り多くのクリニシャン候補に出席してもらいたい。2018 クリニックはレベル 1 を実施する。レベル 1 マスタークリニシャンを養成。これらのクリニシャンが各国に帰りコーチを養成する事により他国で開催されるクリニックへ受講しに行く必要をなくしたい。

ウィマー会長：一旦このプログラムが導入されれば、既に 5 レベルをクリアできるため審査員資格取得へとつながりやすくなる。オンライントレーニングを用いて 5 レベルを勉強する事も検討しているのか？

ジャン・ミッシェル・ルレル：多くの情報をオンラインで提供したい。但し実技の講習会も必要と考える。講習会参加前にオンラインの教材をクリアしておく必要がある。

ウィマー会長：もし講習会を 5 回受講しなければならないなら、受講者はほとんどいないだろう。

ウィマー会長：加盟国には既に指導者資格を認定している国がある。これらの資格を既に取得したコーチらの取扱いは？

ジャン・ミッシェル・ルレル：各国の認定制度の内容を把握する必要がある。もし共通しているようなら WBTF の再認定の必要無い。

アメリカ：全ての国のコーチらが WBTF 公認コーチの資格を取得する事が目標なのか？

ジャン・ミッシェル・ルレル：はい

アメリカ：アメリカのように既に公認資格を認定している国は、そのカリキュラムを WBTF 公認システムに準ずるよう変更すべきか？

ジャン・ミッシェル・ルレル：はい

ウィマー会長：この様なコーチ認定システムを導入する事は、将来スポーツアコードや IOC に加盟申請をする際にも重要なポイントとなる。

スロベニア：国内のコーチ認定を既に受けた者も沢山いる。これらのコーチも再度 WBTF 資格を受験し直す必要があるのか？

ジャン・ミッシェル・ルレル：各国の認定システムの内容を確認し、WBTF の認定基準に達しているのかどうかを確認する必要がある。

オランダ：提案のシステムは WBTF が提供する種目のみを含むが、将来を見据えて IBTF 種目も導入するべきではないか？

パオラ・デ・マルキ：現在は WBTF としてはこれらの種目がすべてだが、一旦 IBTF が設立されれば、その後にシステムを移行する事が可能。

イングランド：選手権大会中のどのタイミングでクリニックを実施するのか？

ウィマー会長：この様な講習会は通常大会開始前の週末に実施している。

パオラ・デ・マルキ：ヨーロッパ選手権のスケジュールも考慮すべき。

カナダ：多くの指導者は選手の準備があるので、大会後に実施したほうが良いと思う。

スイス：全てのレベルをクリアするには何年かかるか？

ジャン・ミッシェル・ルレル：現段階では予測不可能。

ボード動議 #11 – ETC 提案 #3

可決

ETC 提案#3 の承認：教育及び資格認定プログラム準備の第一段階に関する予算を承認する。

教育及び資格認定プログラムの第一段階として \$4000 を予算に計上する。

ETC は 5 段階の資格制度を定める。WBTF の理念に則した、段階的なシステムとする。

2018 年にマスタークリニシヤンの育成を目指す。クリニシヤンはヨーロッパ、北アメリカ、日本からの人材を含む。

資金の分配

- タスクフォース会議：2～3 名 2017 年秋
- ビデオ、マニュアル、オンライン教材の作製
- 2018WC における会議室－クリニシヤンワークショップの為

提案： France

セカンド： Norway

賛成： 9

反対： 0

棄権： 0

即時有効

発議： USA

セカンド： Netherlands

賛成： 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対： 0

棄権： 0

欠席： 0

パオラ・デ・マルキ：テクニカル委員会はレベル A の呼称を決定していないので、次回会議まで保留とする。

ボード動議 #12 – テクニカル委員会提案 #2

可決

テクニカル委員会提案 #2: 選手権大会の競技フロアサイズを承認する。

世界選手権大会における全てのフリースタイル種目（個人、ペア、チーム種目）の競技フロアサイズを最低 15x28m (92x49 feet) と定める。

世界選手権大会とインターナショナルカップも同様とする。

提案 : Norway

セカンド : Spain

賛成 : 11

反対 : 0

棄権 : 0

2017年9月より有効

発議 : Netherlands

セカンド : Scotland

賛成 : 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対 : 0

棄権 : 0

欠席 : 0

ボード動議 #13 – テクニカル委員会提案 #1

可決

テクニカル委員会提案 #1: 選手権大会の決勝戦演技順を承認する。

世界選手権大会におけるフリースタイル決勝戦演技順は以下の通りとする :

- 男子ジュニアとシニアを交互に行う – 各 6 名進出
- 女子シニアとシニアを交互に行う – 各 10 名進出

提案 : Norway

セカンド : Netherlands

賛成 : 11

反対 : 0

棄権 : 0

即時有効

発議 : USA

セカンド : Switzerland

賛成 : 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対 : 0

棄権 : 0

欠席 : 0

ジャッキー・スチュアート : 2月22日午後9時 (CET) にアーティスティックグループのウェビナーを行う。

5月30日午後9時(CET)よりシートプログラムとコンパルソリーのウェビナーを行う。
対象者はヨーロッパ選手権大会の審査員が中心。

現在世界選手権大会の審査の精度向上を検討している。その一環として、事前課題の成績や審査歴などを基に、大会審査員の選考を検討している。

現在担当委員会を設置し、2016年WCのコンパルソリー、ショートプログラム、フリースタイルの審査結果の再評価を行っている。

スイス：マスタージャッジの資格を既に取得しているにもかかわらず、大会審査が出来ない等と言えるのか？

セクレタリー・ジョンソン：カナダは2011年からこのシステムを導入しているが、目的は資格の再認定では無く、現段階において一番精度が高い審査員を選考する為。

ウィマー会長：世界選手権の選手は世界最高レベルのジャッジによって審査されるべき。

スコットランド：我が国の公認審査員数は少ない。その様な状況で、1種目のみの審査を割り当てられた場合（例えばコンパルソリー審査のみ）、その1種目の為だけに世界選手権に来る事はできない。

スコットランド：各パネル何人のジャッジにするかをどの様に決定するのか？現在の提案では5～7名となっている。

ジャッキー・スチュアート：基本的には事前に行う課題の結果によってジャッジを選考する。その他の条件としては、今までの審査経験や以前の審査結果内容の評価等。

スコットランド：そうなると同じ国出身のジャッジ5名が同時に選考される場合もあり得るのか？

ジャッキー・スチュアート：理論的には可能。しかし昨年事前課題を試験的に実施してみた。もしこの課題結果を基に昨年度の大会審査員を選考したとすれば、国別の偏りは見られなかった。各国のジャッジがどこかのパネルに入っているの、5人共同じ国からという状況は現実的には考えにくい。

パオラ・デ・マルキ：これは大会審査員選考と言う目的に加えて、審査員のさらなる教育も兼ねている。

ジャン・パトリック・ルサー：フランスでも同様なシステムを導入している。導入当初は不安を感じるかもしれないが、結果は良好。2018年大会において試行してはどうか。

オランダ：例えば各国最低1名のジャッジはパネルに選考されるようにできないか。

スペイン：選考するならどのタイミングで行うのか？

ジャッキー・スチュアート：選考結果は3月1日頃発表の予定。

ジャッジ委員会提案 #1 : 大会審査員選考を承認する。

背景 : 世界選手権審査の精度を高め、クオリティコントロールを行うため 3 年かけて審議し、2016 年大会において選考システムを試行した結果、以下の提案を行う :

2018 年世界選手権大会より審査員の選考システム導入を提案する。大会審査員候補者は参加各国より募集する。

1. 各国のマスタージャッジに対し、選考システムへの参加を促す。
2. 2018 年選手権大会の審査に加わらないマスタージャッジ 3 名 (日本、北アメリカ、ヨーロッパより) を選考し、選考課題の作成を行う。
3. 2 月 1 日 : 選考課題を参加者全員に配信し、1 週間以内に課題を提出する。
4. 3 月 1 日 : 参加者全員に結果が発表される。
5. テクニカル議長、ジャッジ議長、コーチ議長によって課題の結果を検討し、合わせて以前の審査結果等も考慮の上大会審査員と審査種目の割り当てを決定する。
6. 1 パネルにつき、5~7 名のジャッジパネルとする。
7. 1 パネルにつき、1 国 1 名の審査員とする。
8. 種目ごとにパネルを決定する : コンパルソリー、ショートプログラム、フリースタイル、ペア、チーム種目。

提案 : Norway

セカンド : Sweden

賛成 : 全員

反対 : 0

棄権 : 0

即時有効

発議 : Canada

セカンド : France

賛成 : 13 (Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA)

反対 : 1 (Australia)

棄権 : 1 (Scotland)

欠席 : 0

2017 年度予算

会計担当ポール・ルッテンより、テクニカル委員会の予算を追加した修正案が提出された。

2017 年以降、ワールドレコードブックはオンライン化する。

資料参照： [\[09 2017 Budget Proposal.pdf\]](#)

ボード動議 #15 – 2017 年度予算	可決
2017 年の予算を承認する。	
発議： Croatia セカンド： Sweden	
賛成： 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA) 反対： 0 棄権： 0 欠席： 0	

2017 インターナショナルカップのスケジュール修正

ボード動議#16 – 2017 インターナショナルカップのスケジュール修正	可決
2017 インターナショナルカップの開会式は火曜日の夕刻とする。	
発議： Canada セカンド： Netherlands	
賛成： 15 (Australia, Canada, Croatia, England, France, Italy, Japan, Russia, Scotland, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, Netherlands, USA) 反対： 0 棄権： 0 欠席： 0	

今後の会議予定

グランプリ大会終了からインターナショナルカップの開始まで 2 日間しかない。月曜日の午前中に WFNBT A とグランプリ大会の反省会を行う予定。

2017WBTF サマーボード会議は火曜日午前中に開催する。

2018 ウィンター会議は 2018 年 1 月 26 日～18 日まで、キシミーで開催する。

WBTF ポリシー&プロシージャーマニュアルは WBTF ウェブサイトにて公表する。

コンチネンタルコミッション

ヨーロッパコミッション

議事録は提出され次第配信する。

パンパシフィックコミッション

パンパシフィックコミッションでは、1月にカリフォルニア州ストックトンで開催された第1回大会の反省会を行った。

議事録及び大会報告は以下の通り。

報告資料： [10a 2017 Pan Pacific Cup Report.pdf]

議事録： [10b Pan Pacific Minutes 2017.pdf]

ボード動議 #18 – 閉会動議

可決

2017 ウィンター会議を閉会する。

発議： USA

セカンド： Croatia

Respectfully Submitted:

Jeff Johnson
WBTF Secretary